

これを頼りに樹林帯に入り込み、滝の落口へと抜ける。岩がモロく、ホールドも少ないために、この滝を越えるだけで35分もかかってしまった。

すぐにまたナメ状の滝が出る。5mくらいだが、水量は少ない。その後もナメ状の小滝が続く。やがてナメ床が倒木ト土砂で埋まるようになる。伐採の時のものか、ワイヤーなどもかなり残っていた。

やがて水も溜れ、ヤブがかぶさってくる。右手の支沢に入り、下ヨド沢(仮称)の下降に移る。 (記・1)

[タイム] 河内川橋(7:10)→ヨド沢出合(8:15)→遡行終了(9:40)

下ウス沢

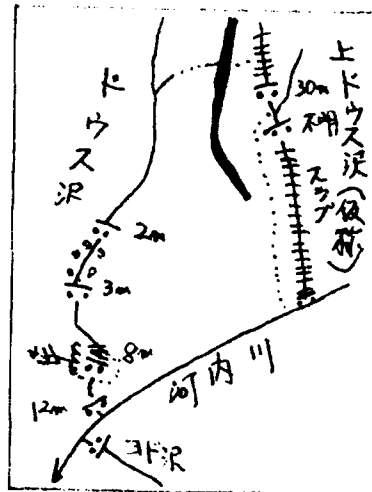
1987年8月2日

L

河内川橋から1時間程で下ウス沢出合。8:20。下ウス沢は、出合よりいきなり12mの滝をかける。水量は少ないので、ウェディングシューズのフリクションをきかせて直登する。そのあと5分程で、今度は8m直瀑。ここは登れず、左岸を捲く。このあと小滝を過ぎると、流木が多くなった。

9:25左岸に枝沢を確認する。なおも本流を遡るが、本流はこの先30分程で水の流れもなくなった。10:00遡行終了。確認しておいた枝沢まで戻り、それより尾根に出る。 (記)

[タイム] 下ウス沢出合(8:20)→遡行終了(10:00)



上トウス沢(仮称)

1987年8月2日

L

10:40下ウス沢の遡行を終えて、尾根に出る。尾根には伐採用の作業道があった。10分間休憩してから、下降に移る。11:00上トウス沢(仮称)に出る。そこから5分も下降しないうちに、30m程のナメ滝。これを半分ほどクライミングダウ

ンし、途中から懸垂下降する。さらに下を見ると、河内川本流が見えるだけで、沢身自体は全く見えず、大スラブとなって本流に落ち込んでいる。とても下降を続けることはできず、高捲きして下山となる。河内川本流到着12:20。

(記・)

[タイム] 下降開始(10:50)→沢(11:00)→河内川本流(12:20)

オオミノワ沢 1987年8月1日

河内川橋から河内川本流を遡る。30分程遡った所で、馬尾滝とよばれる大きな滝をかけて右岸から支沢が合流。落差は30m。見事である。河内川本流は平凡で滝もかからないが、合流する支沢はすべて滝をかけている。

橋から1時間30分程でオオミノワ沢出合。オオミノワ沢は、ここまでに合流する他の支沢と異なり、出合には滝がかからず、沢床は同じ高さである。

出合すぐ小さなナメがある。しかしその先は平凡。

やがて沢は大きく左に曲がる。すると、出てきました連瀑帯。2～4mの滝が5つ続く。最初の滝は簡単に越すが、次の滝はツルツルに磨かれた岩で、とても登れない。せっかく登った滝も下って、左岸の灌木まじりの草付きを登る。大高捲きとなった。

このあとは平凡。どうということもないまま源流帯となる。やがて水が濁れる。そのあと全面に大きなスラブ。とても登れたものでないので、左岸の小尾根に逃げる。小尾根を登りつめたら二俣温泉から大白森山に至る登山道に出た。

(記・)

[タイム] 河内川橋(7:10)→馬尾滝(7:40)→オオミノワ沢出合(8:45, 9:35)→沢終了(11:25)→登山道(12:00)→二俣温泉(12:50)

